

北海道議会時報

第33巻第6号

昭和56年第1回臨時会



北海道議会事務局

北海道議会時報第33巻第6号(昭和56年第1回臨時会)

(表紙写真)

羊 の 放 牧 風 景

北海道議会時報第33巻第6号(昭和56年第1回臨時会)

第1回臨時会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	5
決議案・意見案	6
請 願・陳 情	10

委員会 の 動 き

議会運営委員会	11
常 任 委 員 会	13
特 別 委 員 会	23
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
災害対策特別委員会	
企業会計決算特別委員会	

会 合

10都道府県議会議長会	31
北海道・東北6県議会議長会	31

8月・9月のメモ

議 会 日 誌



▶ 8 月

- 4 日 (火) 厚生委員会
- 5 日 (水) 総務、建設各委員会
- 6 日 (木) 農務、農地開発、水産、文教林務
各委員会
- 7 日 (金) 商工労働委員会
- 17 日 (月) 建設、石炭対策特別各委員会
- 18 日 (火) 総務委員会
- 21 日 (金) 総合開発調査特別、企業会計決算
特別各委員会
- 24 日 (月) 農地開発委員会
- 25 日 (火) 企業会計決算特別委員会
- 26 日 (水) 水産、企業会計決算特別各委員会
- 27 日 (木) 農務、企業会計決算特別各委員会
- 28 日 (金) 企業会計決算特別委員会

▶ 9 月

- 2 日 (水) 商工労働委員会
- 3 日 (木) 議会運営、総務各委員会
- 4 日 (金) 農務、北方領土対策特別各委員会
- 11 日 (金) 議会運営、各常任、公害対策特別
各委員会
- 12 日 (土) (第 1 回臨時会開会)
議会運営委員会
本会議 (会期決定< 3 日間>、災
害報告及び提案説明、質疑並びに
質問< 5 人>、災害対策特別委員
会設置)
災害対策特別委員会 (正副委員長
の互選)
- 13 日 (日) 議会運営、災害対策特別各委員会
- 14 日 (月) 議会運営、災害対策特別各委員会
本会議 (災害対策特別委員長報
告、補正予算可決、意見案 1 件可
決、陳情審査、請願付託)
(第 1 回臨時会閉会)

第 1 回臨時会

総額 374 億円余に及ぶ災害対策補正予算成立

▶ 災害対策特別委員会設置 ◀

概 要

- ① 7 月から 9 月における前線、台風等の大雨による災害対策を審議する第 1 回臨時会は、9 月 12 日招集され、会期を 9 月 14 日までの 3 日間と決定の後、総額 374 億 6,700 万円余に及ぶ災害対策関係補正予算が上程され、知事から、災害状況に関する報告並びに提出案件に関する説明があり、ついで、質疑並びに質問を行い、終結後直ちに 27 人からなる災害対策特別委員会を設置の上、議案の委員会付託を行った。
- ② 会期最終日の 9 月 14 日は、災害対策補正予算に対する災害対策特別委員長報告の後、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。ついで、「昭和 56 年 7 月における日高地方を中心とした大雨、8 月における前線、台風第 12 号及び台風第 15 号、9 月 3 日から 4 日にかけての台風第 18 号から変った低気圧と前線による渡島、桧山地方を中心とした北海道の大雨災害に関する要望意見案」を可決の後、陳情審査の件について、委員会決定のとおり 1 件を採択と決定して、今期臨時会に付議された案件は、すべて議了。議長から閉会のあいさつがあつて、9 月 14 日午後 4 時 26 分閉会した。
- ③ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提 出 者	提 出 件 数	処 理 の 状 況		計
		原 案 可 決	報 告 の み	
知 事	5	3	2	5
議 員	2	2	0	2
計	7	5	2	7

本 会 議

○9月12日（土） 午前10時10分開議、松浦義信議長、昭和56年第1回臨時会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期臨時会の会期を、本日から14日までの3日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第3号を議題とし、知事から、昭和56年8月における前線、台風第12号及び台風第15号並びに台風第18号から変った低気圧による災害状況に関する報告並びに提出議案に関する説明の後、**質疑並びに質問**に入り、

青山 正男議員（自民）から、今回の豪雨災害に対する認識と再発防止のための取り組み、局地激甚災害の指定外市町村の救済措置、市町村財政に対する今後の措置、農業の低位地帯の被害の要因と転作の進め方、転作の緩和措置について国への要請、内水排除施設の見直し、麦共済事業と豆類等の畑作物共済の推進方策、被害農家の金融対策、規格外米の政府買い入れの特例措置の見通し、農地の復旧対策、林業の治山対策、林道の災害復旧対策、風倒木被害に伴う森林資源、林産業等への影響と処理対策、カラマツ被害木の需給調整対策、除間伐・被害跡地の再造林の助成措置、被害木処理等の年次計画策定の考え、サケ・マス増殖施設等の復旧対策、漁場の早期復旧、石狩放水路の緊急通水による漁業被害、河川の整備状況、石狩川水系治水計画の見直しと千歳川の太平洋への放水に対する見解、内水排除施設の新増設等の整備対策、第6次治水5箇年計画の策定に対する国への働きかけ方、道管理河川の整備の考え方、被災中小企業者に対する金融措置と経営指導体制、国鉄の復旧に対する道の取り組み、日高線の堆積土砂の海中投棄に係る地元漁民との対応と復旧の見通し、被災一般住宅の復旧対策、公営住宅復旧の財政措置と新規建設の考え、秋冬野菜の供給確保と価格の安定対策、治水総合対策の樹立に対する見解と建設省の明年度の施策内容

について

質問があり、知事から答弁。ついで、

鈴木 誠二議員（社会）から、海外出張に係る今次災害に対する知事の責任と所信、災害に伴う開発政策の再検討の必要性、治山治水事業の連携体制のあり方と庁内取り組み体制の一元化、石狩川等の治水対策に臨む知事の所信と事業の促進、河川整備の未計画と未着手分の達成計画、石狩川水系の治水計画の見直しの考え方、新放水路等の必要性和所見、内水排除施設の拡充強化及び維持管理のあり方、急傾斜地の総点検と保全対策、国鉄日高線・富内線の早期復旧と迂回道路網の整備、有珠山の抜本的な防災対策、奥尻町を中心とする低気圧災害についての激甚災指定の働きかけ、道南の河川改修の促進、奈井江川の堤防決壊に伴う今後の安全対策、北電奈井江発電所の火災原因と復旧費、営業上の損失及び操業再開の見通し、同発電所の石炭灰流出の状況と除去対策及び田畑への影響、災害予想区域における公立学校の防災対策、都市の災害防止対策、低地帯の住宅冠水防止に対する道条例の制定と関係市町村への指導、急傾斜地の未指定地区の見直し、被害農家に対する金融措置と道の助成策、麦・果樹等の共済事業に対する道の指導の十分性と今後の対応策、転作田の被害についての認識と転作条件の整備のあり方、農地等の災害復旧の考え方と河川復旧との関係、復旧限度額を超える場合の措置、林業被害に伴う木材需給等への影響と総合的な対策、治山・林道の災害復旧と防災対策、漁船・漁具等の復旧対策の現状、サケ・マス増殖施設の被害による増殖事業への影響と復旧対策の十分性、海産干場の復旧と漁場及び河口の流木等の除去についての処置、災害救護活動に係る賞いゅう金制度の再検討、罹災道民の住宅対策等についての施策と今回の災害関係予算との関連、被災者に対する道税の減免等の措置、生活関連施策の展開に当たっての財源措置、財政調整基金取り崩しの考え、市町村に対する財政援助措置、被災中小企業者に対する資金融資枠の拡大と既往融資の償還猶予措置、災害時及び異常気象時における交通安全・交通流量の確保策と交通規制に関する罰則の適用の考え方について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。
議事進行の都合により、午後零時57分休憩、午後2時16分再開。鈴木誠二議員（社会）から再質問、知事、教育長及び警察本部長から答弁。ついて、

伊藤 豪議員（道政）から、規格外米の政府買い上げの見通し、規格外の麦に対する基金による価格差補てんの見通しと不十分な場合の措置、共済金の早期支払いの見通し、果樹及び畑作被害の救済策、家畜の飼料不足の実態と対策、越冬用飼料の確保策、牧草地の被害状況と復旧等の対策、一般住宅の被害救済措置と江別市の社会福祉施設の災害復旧に対する助成措置、被災中小企業者に対する金融措置、年末に向かったの中小企業の経営安定対策、農地・農業用施設の災害復旧の応急対策、自作農維持資金の特別貸付限度額の引き上げ、天災資金の融資及び制度資金の償還猶予等緩和措置の見通し、風倒木の処理と造林等復旧計画、石狩放水路の緊急通水に伴う漁業被害の把握と復旧についての配慮、道税の減免措置の周知徹底、国鉄の早期復旧についての対応、中小河川の改修計画と資金の規模及び今後の整備方針、札幌市の水害防止プロジェクトチームへの道の参加と指導性の発揮、昭和50年8月水害以降の内水排除施設の機能・管理体制の改善措置状況、今回の出水被害に伴う排水機場の水防対策と施設の改善整備策、緊急時における防災体制の連携のあり方、ダムによる洪水調節の役割りと貯水対策の促進、洪水防止に対する大夕張ダム機能の再検討の要請方、石狩川水系の工事実施基本計画の見直しと太平洋放水路建設についての考え方、災害恒久対策に当たっての国の積極的な財政措置の必要性和地域特例の引き下げに対する所見について

質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、午後4時4分休憩、午後4時25分再開。あらかじめ会議時間を延長の上、

工藤 啓二議員（公明）から、都市水害の未然防止のあり方、水害防止に対する河川改修計画の見直し、流域開発との調整等総合的対策の必要性、都市化の進展と水害の拡大との関係及び対策のあり方、第6次治水事業5箇年計画への今次水害状況の反映方策、被災農家救済のための自作農維持資金等の金融対策、畑作物共済

の普及停滞の要因と加入促進策、畑作被害に伴う畑作物検査規格の特例措置の必要性和対処策、山地崩壊等の被害の原因と森林機能の充実にに対する指導との関係及び今後の取り組み、山腹崩壊の再発防止と恒久的な復旧対策、治山事業等との連携による水処理対策の推進、石狩川支流河川の氾濫防止に対する本川の計画高水位引き下げについての所見、石狩川下流部の堤防沈下防止策、太平洋放水路構想についての見解と実現方、災害復旧等に係る災害弔慰金制度と賞じゅつ金制度の比較、弔慰金制度改正等による配慮の必要性について

質問があり、知事から答弁。工藤啓二議員（公明）から再質問、知事から答弁。ついて、

川崎 守議員（共産）から、今次災害の原因と今日までの知事の政治姿勢との関係、災害発生直後の海外出張に係る災害対策についての基本姿勢、昭和50年水害以降における石狩川水系工事実施計画の見直しの有無と計画高水流量の当否、河道堀削及び遊水池づくりの早期実施、松倉川の被害対策と改修工事の促進、鮫川の治水対策、開発予算における治水関係予算の拡大、早苗別川の切りかえ工事の完成目途、治水対策に係る市街化区域、開発行為に対する規制措置等の検討と宅地造成のあり方の再考、札幌市南区北の沢の人家倒壊の原因と北の沢川における砂防事業の促進、野々沢川における砂防ダムの必要性、国直轄による豊平川水系砂防工事の推進、室蘭市山の手地区、御前水地区に係る急傾斜地崩壊防止事業の促進と道道の排水路整備、函館市根崎地区の急傾斜地等危険個所の崩壊防止対策、雨竜ダムの放流による被害についての道及び北電の責任、北電からのダム操作状況の通報内容と雨竜発電所の稼働状況、雨竜第2ダムの予備放流と事前放流の的確性、ダム操作記録及び操作規程の公表と規程の見直しについて北電への要請方、長沼町水田転作地帯の被害の受けとめ方と排水機場の整備、転作等土地利用形態の変化に即応する内水排除施設の整備、被害農家に対する制度資金の償還猶予措置のあり方と農協等への指導の徹底、果樹の総合振興計画策定による農家経営の安定化、倒伏リノゴ樹木の処理等に対する助成措置と腐乱病対策の徹底、自衛隊長沼ナイキ基地周辺の被害突

態と防災対策の十分性、長沼炭山川の床ざらえ改修の促進、旭川近文台演習場周辺の排水路の整備状況と完成の目途、上富良野演習場における河川改修状況と被害との関係、改修事業の促進、砂防ダム設置についての防衛庁への要請と被害補償に対する所見、災害復旧事業の地元中小建設業者への発注と季節労働者の就労等についての配慮、海産干場と民間サケ・マス増殖施設の災害復旧に対する援助策、測候所の機能充実等の気象観測体制の強化について国への要請方、国鉄復旧に対する関係機関との協力体制の強化と恒久性を有する復旧工法の要請について

質問があり、知事から答弁。川崎守議員（共産）から再質問、知事から答弁。川崎議員から意見があって質疑並びに質問を終結。ついで、

日程第3の議案第1号ないし第3号にあわせ

日程第4 決議案第1号を一括議題とし、決議案第1号について、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決の後、直ちに議長指名（配付名簿のとおり）により次の災害対策特別委員を選任。次に、議案第1号ないし第3号について、異議なく災害対策特別委員会に付託することに決定。

○災害対策特別委員（27人）

小田原要四蔵（社会）	神本 三也（社会）
中川 隆之（道政）	中川 義雄（自民）
松本 勇（自民）	青山 正男（自民）
関根 建二（社会）	柳谷 正一（公明）
岡本栄太郎（社会）	石山 直行（自民）
岩田 徳弥（自民）	川口 常人（自民）
佐々木利昭（自民）	佐藤 静雄（自民）
中崎 昭一（自民）	伊藤 豪（道政）
湯田 倉治（道政）	新沼 浩（自民）
工藤万砂美（自民）	笹浪 幸男（自民）
鈴木 誠二（社会）	本間喜代人（共産）
星野 健三（社会）	原 清重（社会）
若狭 靖（自民）	東 典俊（自民）
田莉子政太郎（自民）	

次に、

日程第5 陳情第67号を議題とし、異議なく災害対策特別委員会に付託することに決定して、午後6時29分散会。

○9月14日（月） 午後4時10分開議、諸般の報

告の後、

日程第1 議案第1号ないし第3号を議題とし、東典俊災害対策特別委員長（自民）から、委員会における議案審査の経過と結果について報告の後、いずれも異議なく委員長報告のとおり原案可決。次に、

日程第2 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第3 陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、異議なく委員会決定（採択1件）のとおり決定。次に、

日程第4 請願第127号を議題とし、異議なく災害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査に付することに決定して、今期臨時会に付議された案件はすべて議了。松浦義信議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後4時26分閉会。

第1回臨時会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 12	1	昭和56年度北海道一般会計補正予算（第2号）	災害対策特別委員会	9. 14	原案可決
同	2	昭和56年度北海道有林野事業会計補正予算（第1号）	同	同	同 賛
同	3	昭和56年度北海道電気事業会計補正予算（第1号）	同	同	同

報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 12	1	専決処分報告の件〔工事請負契約の変更（工事請負契約の締結、昭和55年7月18日議決を経た議案第19号に係るもの）に関する件〕			報告のみ
同	2	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、8月4日2件、8月28日1件、9月3日1件、9月5日1件専決処分）			同

議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
9. 12	1	災害対策特別委員会設置に関する決議	水沼徳一郎議員 ほか13人	9. 12	原案可決

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
9. 14	1	昭和56年7月における日高地方を中心とした大雨、8月における前線、台風第12号及び台風第15号、9月3日から4日にかけての台風第18号から変った低気圧と前線による渡島、桧山地方を中心とした北海道の大雨災害に関する要望意見書	東典俊議員ほか26人	9. 14	原案可決

決 議 案

決議案第 1 号

(水沼徳一郎議員ほか13人提出)
9月12日 原案可決

災害対策特別委員会設置に関する決議

1. 本議会に27人の委員をもって構成する災害対策特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、
 - (1) 昭和56年7月における日高地方を中心とした大雨、8月における前線、台風第12号及び台風第15号、9月3日から4日にかけての台風第18号から変った低気圧と前線による渡島、松山地方を中心とした大雨に関する災害対策の推進を図る。
 - (2) 各常任委員会所管の前号関係事務について連絡調整を行う。
3. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。

意 見 案

意見案第 1 号

(東 典俊議員ほか26人提出)
9月14日 原案可決

昭和56年7月における日高地方を中心とした大雨、8月における前線、台風第12号及び台風第15号、9月3日から4日にかけての台風第18号から変った低気圧と前線による渡島、松山地方を中心とした北海道の大雨災害に関する要望意見書

北海道は、去る7月5日から6日にかけて日高地方を中心に低気圧と前線の影響による大雨に見舞われ、多大な被害が発生し、さらに、8月3日から6日にかけて北海道の北部から南西部に伸びて停滞した前線に台風第12号の影響も重なり、これに伴い、観測史上例のない記録的な大雨が降り、全道一円に甚大な被害が発生し、札幌市を初め、12市町村に災害救助法が適用されるという大災害となったのであります。

北海道としては、被害市町村と一体となり、関係機関及び諸団体の協力のもとに総力を挙げて被災者の救助に当たるとともに、被災地の早期復旧に万全を期していたところですが、さらに8月23日、北海道を直撃した台風第15号及び9月3日から4日にかけての台風第18号から変った低気圧と前線による渡島及び松山地方を中心とした大雨により一層被害が増大し、その規模はきわめて大きく、かつ広範にわたり、道民生活はもとより北海道経済にとってまことに深刻であります。

よって、国においては、直面する深刻な事態を深く認識され、災害復旧に必要な次の事項について、速やかに措置されるよう強く要望いたします。

記

1. 「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づく激甚災害としての指定について
今回の前線による被害はきわめて甚大であるので、激甚災害として指定の措置を講ぜられたい。
2. 災害の早期復旧について

災害復旧を早期に進めるため緊急査定を実施するとともに、災害復旧事業費については、当該事業の進度に応じた補助金が交付されるよう配慮願いたい。

3. 治水事業等の促進について

石狩川本流及びその支流並びに中小河川の氾濫にかんがみ、石狩川河川改修計画の見直しほか治水事業の大幅な促進を図るとともに内水排除対策の強化を図られたい。

4. 改良復旧事業の実施について

公共土木施設について、再度災害の発生を防止するため、全面的に改良復旧を取り入れるよう配慮願いたい。

5. 治山事業の緊急復旧について

- (1) 緊急治山事業を早期に実施願いたい。
- (2) 治山施設災害復旧事業を早期に実施願いたい。

6. 急傾斜地の保全対策について

急傾斜地の崩壊による災害防止のため、事業の促進を図られたい。

7. 農業対策について

(1) 天災融資法の適用について

天災融資法を適用し、融資枠を確保するとともに、被害農家の実態に応じた貸付限度額を設定願いたい。

(2) 自作農維持資金の融通について

自作農維持資金について、融資枠を確保するとともに、被害農家の既借入残高を十分考慮した特例貸付限度額を設定願いたい。

(3) 公庫資金等制度資金の償還猶予等について

公庫資金等制度資金について、償還期限延長の措置を講ぜられるとともに、経営困難な農家に対しては、更に重厚な措置を講ぜられたい。

(4) 土地改良事業負担金の徴収猶予について

国営土地改良事業負担金の本年度分徴収猶予について措置を講ぜられたい。

(5) 災害復旧事業の公庫資金融資措置について

農地及び農業用施設の災害復旧に対し、公庫資金の円滑な融資措置を講ぜられたい。

(6) 規格外米の政府買入れについて

災害により発生する規格外米について、政府買入れの特例措置を講ぜられたい。

(7) 規格外麦の価格差補てんについて

麦振興特別基金を増額し、災害により発生した規格外麦の全量について、適正な価格差補てんを行うとともに、その販売が円滑に行われるよう措置願いたい。

(8) 病虫害緊急防除用農薬購入費の助成について

農作物及び果樹の病虫害緊急防除に必要な農薬の購入費に対し助成願いたい。

(9) 果樹経営の安定について

果樹経営の安定を図るため、被害樹園の生産基盤の整備を促進願いたい。

(10) 再生産用種子購入費の助成について

被害農家の再生産に必要な種子の購入費に対し助成願いたい。

(11) 越冬用飼料の確保について

越冬用飼料の確保を図るため、政府操作飼料を低価格で払下げるなどの措置を講ぜられたい。

(12) 転作等目標面積の軽減について

昭和57年度の転作等目標面積について、昨年の冷害に準じた特例の軽減措置を講ぜられたい。

- (13) 昭和56年産米予約概算金の返納に関する特例措置について
被害農家の予約概算金の返納に関し、利子減免の特例措置を講ぜられたい。
- (14) 農業共済の損害評価の特例措置について
農業共済の損害評価について、米の品質低下を共済減収とみなす特例措置を講ぜられたい。
- (15) 農産物検査規格の特例について
災害により発生する種子馬鈴しょ、豆類等の規格外農産物について、特例規格を設定願いたい。
- 8. 林業対策について
 - (1) 林道施設災害復旧事業を早急に実施願いたい。
 - (2) 被害森林の病虫害防除及び早期復旧のため、森林災害復旧事業の適用措置を講ぜられたい。
 - (3) 国有林の風倒被害木の適期処理について配慮願いたい。
- 9. 水産業対策について
 - (1) 天災融資法を適用するとともに、貸付限度額の引上げ及び貸付対象範囲の拡大を図られたい。
 - (2) 農林漁業金融公庫の沿岸漁業経営安定資金の限度額を引上げられたい。
 - (3) 漁業共済金の早期支払措置を講ぜられたい。
 - (4) 災害を受けた沿岸漁場（うに、あわび等）の効用を回復するため、代替漁場の造成事業に対し、助成措置を講ぜられたい。
また、海産干場の復旧に必要な事業に対する助成措置を講ぜられたい。
 - (5) さけ・ます増殖施設災害のうち、国の施設の早期復旧を図るとともに、道及び民間施設の災害復旧事業に対し、助成措置を講ぜられたい。
- 10. 社会福祉施設の災害復旧対策について
社会福祉施設の災害復旧事業に係る国庫補助基準の緩和措置を講ぜられたい。
- 11. 生活環境改善施設の災害復旧について
ウタリ地区の生活環境改善施設に係る災害復旧について配慮願いたい。
- 12. 国民健康保険事業の助成について
被保険者に対する国民健康保険税（料）の減免が予想されるので、特別調整交付金の交付について配慮願いたい。
- 13. 環境衛生施設の災害復旧について
水道・一般廃棄物等環境衛生施設の災害復旧事業に対する補助基準の改善及び補助率の引上げとその財源措置並びに早期交付について配慮願いたい。
- 14. 国立・国定公園内の施設等の災害復旧について
 - (1) 国立公園施設整備事業（直轄）による施設の災害復旧を早期に実施願いたい。
 - (2) 国立・国定公園等施設整備事業（国庫補助）による施設の災害復旧を早期に実施できるよう予算措置について配慮願いたい。
- 15. 政府系中小企業金融機関の融資について
 - (1) 政府系中小企業金融機関の災害貸付枠の拡大を図られたい。
 - (2) 既往の貸付金については、償還期間の延長を図られたい。
- 16. 公立学校施設の災害復旧について
公立学校施設の災害について早期に復旧できるように配慮願いたい。
- 17. 国鉄日高本線等の早期開通について
日高本線、富内線及び胆振線の早期復旧を図られたい。

18. 地方財政対策について

被災地方公共団体は、税の減免、徴収猶予等による減収に加え、災害対策のための特殊財政需要が増大し、財政運営に影響を与えることが予想される実態にあるので、特別交付税、地方債等による財源措置を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、厚生大臣 農林水産大臣、通商産業大臣、運輸大臣、建設大臣 自治大臣、環境庁長官、国土庁長官 北海道開発庁長官	}	各通
--	---	----

請 願 ・ 陳 情

○ 第1回臨時会において特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
127	8月豪雨並びに台風15号による大雨災害に関する件	豊平東部農業協同組合 組合長理事 飛瀬敏雄ほか4人	災害対策 特 別	継続審査

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
67	7月及び8月豪雨並びに台風第15号災害対策に関する件	北海道日高町村会 会長 浜口光輝ほか1人	災害対策 特 別	採 択

委員会の動き

災害対策特別委員会設置、委員の選任、議案の付託)

議会運営委員会

○9月3日(木) 午後零時22分、議会運営委員会室において開議、午後零時31分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、前線と台風12号及び台風15号による被害状況並びに臨時会の招集について説明。
- ② 第1回臨時会の招集期日について、9月12日とすることを了承。
- ③ 総務部長から、第1回臨時会付議事件について説明。
- ④ 会期について、9月13日は休日であるが特に審議を行うこととし、9月12日から14日までの3日間とすることに決定。
- ⑤ 日程並びに審議方法について、本会議における質問等は、提出議案に関する質疑並びに災害報告に関する質問とし、日数は9月12日の1日間、人数は各派1名、通告時間は概ね1人30分程度、順位は自民、社会、道政、公明、共産とする方法で行うことに決定。なお、通告については9月10日正午までとすることを了承。

- ⑥ 今次災害対策のため、特別委員会を設置することををはかり、異議なく決定。名称は災害対策特別委員会、設置時期は9月12日、構成は27人(自民15人、社会7人、道政3人、公明1人、共産1人)、委員長は自民、副委員長は社会とし、委員名簿は9月10日正午まで提出すること、設置決議案は、配付のとおりとし、提出者は議会運営委員及びオブザーバーとすることとした。

- ⑦ 第1回臨時会の日程について、次のとおり取り進めることに異議なく決定の後、委員長から審議促進について協力要請があった。

▽ 第1回臨時会日程

9月12日 本会議(災害報告並びに提案説明、質疑並びに質問、

13日 休会

14日 本会議

- ⑧ 災害関係の補正予算について、災害対策特別委員会に付託することに異議なく決定。

○9月11日(金) 午後5時5分、議会運営委員会室において開議、午後5時15分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、第1回臨時会提出議案並びに9月3日から4日にかけての渡島、桧山地方を中心とした大雨による被害状況について説明の後、知事の被害概要の報告について明日の本会議冒頭に行うことを了承。
- ② 災害対策特別委員会設置決議案について、渡島、桧山地方を中心とした大雨災害に関する対策を調査事項に加え、配付の案文のとおり変更すること並びに明日の本会議において議決する扱いとすることををはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、提出議案に関する質疑並びに質問の通告(5人)について報告の後、通告内容の変更について申し出のとおり了承。
- ④ 陳情第67号について、明日の本会議において災害対策特別委員会に付託することををはかり、異議なく決定。
- ⑤ 9月12日の本会議議事順序について、明日協議することを了承。
- ⑥ 道議会開設80周年記念事業について、事務局説明のとおり了承。

○9月12日(土) 午前9時38分、議会運営委員会室において開議、午前9時41分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 災害対策特別委員の選任について、配付の委員名簿のとおり選任することを了承。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(開会)

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

日程第2 会期決定の件（9月12日から14日までの3日間）

日程第3 議案第1号ないし第3号

昭和56年8月における前線、台風第12号及び台風第15号並びに台風第18号から変った低気圧による災害状況に関する報告並びに提出議案に関する知事の説明
提出議案に関する質疑並びに災害報告に関する質問（5人）

（質疑終結宣告）

（日程第3の議案第1号ないし第3号にあわせ日程第4決議案第1号を一括議題）

日程第4 決議案第1号

決議案第1号 災害対策特別委員会設置に関する決議

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

○災害対策特別委員の選任（別紙配付名簿のとおり指名）

（議案の委員会付託）

1. 議案第1号ないし第3号を災害対策特別委員会に付託することについて簡易採決

日程第5 陳情第67号

陳情第67号 7月及び8月豪雨並びに台風第15号災害対策に関する件

1. 本件を災害対策特別委員会に付託することについて簡易採決

- ③ 第3回定例会の招集期日等について、明日開催予定の各派会長会議終了後、協議することを了承。

○9月13日（日） 午後1時13分、議会運営委員会において開議、午後1時18分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 第3回定例会の招集期日について、9月26日とすることを了承。会期は、24日間とする

ことに法定。

- ② 総務部長から、第3回定例会提出主要案件について説明の後、災害対策に係る補正予算が提出された場合の審議方法については、改めて協議することを了承。

- ③ 第3回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに異議なく決定。

▽ 第3回定例会日程

9月26日 本会議（提案説明）

9月27日～10月1日 休会

10月2日・3日 本会議（代表質問）

4日・5日 休会

6日～8日 本会議（一般質問）

9日 本会議（一般質問、予算特別委員会設置）

10日～18日 休会

19日 本会議

- ④ 代表質問について、順位は、社会、自民、公明、道政の順とすることに決定。発言時間の使用状況について了承。

- ⑤ 委員長から、決算特別委員会並びに企業会計決算特別委員会の審議状況について、審査終了した旨報告の後、本件について、第3回定例会招集日当日の本会議において委員長報告を行い、議決する扱いとすることに異議なく決定。

○9月14日（月） 午後3時53分、議会運営委員会室において開議、午後3時56分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 委員長から、災害対策特別委員会付託議案について、同委員会において議した旨報告。
- ② 今次災害に関する要望意見案について、本日の本会議において議決する扱いとすることををはかり、異議なく決定。
- ③ 請願第127号について、災害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査とすることををはかり、異議なく決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第3号
災害対策特別委員長の報告

(採決)

1. 本件をいずれも委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて簡易採決

日程第2 意見案第1号

意見案第1号 昭和56年7月における前線、台風第12号及び台風第15号、9月3日から4日にかけての台風第18号から変わった低気圧と前線による渡島、桧山地方を中心とした北海道の大雨災害に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第3 陳情審査の件（採択1件）

(委員長報告省略)

(採決)

1. 本件を陳情審査報告書（採択）のとおり決することについて簡易採決

日程第4 請願第127号

請願第127号 8月豪雨並びに台風第15号による大雨災害に関する件

1. 本件を災害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査に付することについて簡易採決

○議長の閉会あいさつ

常任委員会

総務委員会

○8月5日（水） 午後2時16分、第5委員会室
において開議、午後3時3分散会

委員長 青山 正男（自民）

一般議事

- ① 総務部長から、8月3日からの大雨による災害状況について報告。
- ② 委員長から、道内調査の実施の延期については異議なく決定。延期に伴う実施時期派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、附属機関等の委員の推せんについては異議なく配付の名簿のとおり北海道納税推進運動本部委員に榎林巖副委員長（社会）、中崎昭一委員（自民）、岩崎守男委員（社会）、橋浪蔵委員（道政）及び高橋鉦委員（公明）を、北海道自然環境保全審議会委員に青山正男委員長（自民）及び榎林副委員長を、北海道暴力追放運動協議会委員に委員長を、北海道地方競馬運営委員会委員に委員長及び副委員長を、北海道青少年問題協議会委員に委員長及び副委員長を選出することに決定。
- ④ 総務部長から、職員の不祥事件及び後志支庁文書庫火災事故について報告。
- ⑤ 保格博夫委員（社会）から、(1)道有財産の処分に関し、一般競争入札に不動産業者が参加していることに対する考え方と今後の対応、(2)合成洗剤に係る諸問題に関し、無磷化に伴うE・D・T・A等化学物質使用の必要性和環境汚染調査についての考え、発がん性等人体に悪影響を与える危惧への対処方、(3)空缶散乱防止対策に関し、デポジット方式採用についての考え方と今後の取り組みについて質疑、意見及び要望があり、総務部長及び生活環境部長から答弁。

○8月18日（火） 午前10時35分、第5委員会室
において開議、午前11時2分散会

委員長 青山 正男（自民）

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した8月3日から6日にかけての大雨災害状況に関する各常任委員会正副委員長による合同現地調査の概要について、報告書により報告。

② 総務部長から、8月3日から6日にかけての大雨災害状況について報告の後、

保格博夫委員（社会）から、農業被害の状況把握の時期と対策、道道被害による生産活動への影響についての実態把握、高校生の通学への影響と手段確保、ダム管理の実態把握状況等について

（関連して、岩崎守男委員（社会）から、今回の災害状況の把握時期から臨時議会までの間の災害対策、災害救助法適用市町村に対する普通交付税の繰上げ支給額、被害額の積算方法について）

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○9月3日（木） 午前10時32分、第5委員会室において開議、午前11時35分散会

委員長 青山 正男（自民）

一 般 議 事

① 委員長から、さきに実施した8月3日から6日にかけての前線と台風第12号並びに第15号による大雨災害に関する正副議長及び常任委員会代表による中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なく了承。

② 総務部長から、8月3日から6日にかけての前線と台風第12号並びに第15号による大雨等による災害及び措置状況について報告の後、

保格博夫委員（社会）から、7月の日高地方災害を今次災害と一体として取り組む考え、台風15号による林業関係被害の判明時期、有珠山災害の具体的対策、災害復旧と恒久対策のあり方について

（関連して、岩崎守男委員（社会）から、災害復旧の基本的な考え方について）

質疑及び要望があり、総務部長から答弁。

③ 開発調整部長から、国鉄地方交通線対策に

関する知事意見「特定地方交通線の選定について」について報告の後、

岩崎守男委員（社会）から、特定地方交通線対策協議会の内容、知事の意見書において凍結すべきとの字句を加えた理由と特定人件費の意味、凍結解除の条件の有無、特定人件費に対する意見陳述の妥当性について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。

④ 開発調整部長から、国の行財政改革に関する当面の基本方針について報告の後、

保格博夫委員（社会）から、地域特例補助カットの方針に対する道の対処、北海道地域特例強化の必要性について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。

⑤ 保格博夫委員（社会）から、札幌地区労務局長の暴漢による襲撃事件に関し、民主的政治・社会活動に対する基本的な考え方と捜査活動の進め方及び捜査の現状について

質疑があり、警察本部長から答弁。

○9月11日（金） 午後3時49分、第5委員会室において開議、午後4時59分散会

委員長 青山 正男（自民）

一 般 議 事

① 総務部長から、台風第18号から変った低気圧による被害状況について報告。

② 総務部長及び生活環境部長から、第1回臨時会提出予定案件について説明。

③ 岩崎守男委員（社会）から、人事問題に関し、天下り人事の要因と固定化に対する基本的考え方、適材適所の判断の根拠、総務部長を自治省に求める判断をした理由、国からの人事を慎む考え、中村元副知事の国からの人事を漸減するとの約束に対する実行状況と今後の方針、自治省、厚生省からの天下り人事が多い理由について

（関連して、保格博夫委員（社会）から、本年4月の部長級人事における総務部長人事の考慮の有無、問題指摘がある人事を差し控える考えについて）

質疑及び意見があり、寺田副知事から答弁。

厚生委員会

○8月4日(火) 午前11時25分、第9委員会室
において開議、午後3時20分
散会

委員長 石山 直行(自民)

一般議事

- ① 委員長から、道内厚生事情調査の実施についてばかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、民生・衛生関係の各種審議会委員の推せんについてはかり、異議なく配付の名簿のとおり北海道地方社会福祉審議会委員に舟山広治委員(社会)及び高田忠雄委員(道政)を、北海道民生委員審査会委員に水沼徳一郎委員(自民)及び伊藤弘委員(自民)を、北海道児童福祉審議会委員に川崎守委員(共産)及び関根建二委員(社会)を、北海道国民健康保険審査会委員に伊藤武一副委員長(公明)を、北海道地方医療機関整備審議会委員に高木繁光委員(自民)を、公的医療機関北海道運営審議会委員に湯本芳志委員(社会)を、あん摩、マッサージ、指圧、はり、きゅう、柔道整復等北海道審議会委員に小沢栄吉委員(自民)を、北海道献血推進協議会委員に東典俊委員(自民)及び寺崎政朝委員(自民)を、北海道赤十字血液センター運営委員会委員に東典俊委員(自民)及び石山直行委員長(自民)を選出することに決定。
- ③ 民生部長から、社会福祉法人根室隣保病院及び附属病院並びに養護老人ホームの特別監査の実施結果について報告。
- ④ 衛生部長から、道立増毛病院の廃止について報告。
- ⑤ 関根建二委員(社会)から、(1)精神薄弱者更正施設和光学園の移管・廃止問題に関し、道の小樽市に対する働きかけの状況、小樽市議会の反対議決と移管・廃止方針の凍結(2)精神薄弱児施設もなみ学園の廃止問題に関し、新たに整備することとしている自閉症児施設にかかる57年度開発予算要求額、精神薄弱児施設と自閉症児施設の差異、施設整備費に対する国費補助が得られない場合の措置、自閉症児施設収容定員80人の根拠と関係者と

の合意の有無、精神薄弱児40人、自閉症児40人の収容構想の理由と定員の弾力運用、母子短期訓練事業の内容及び施設の組織、運営上の問題点、もなみ学園の廃止の表現を統合合併等と訂正する考え

川崎守委員(共産)から、特別養護老人ホーム清華園に関し、運営上の問題点、監査の実施等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

- ⑥ 関根建二委員(社会)から、(1)公害対策上の保健所の機能に関し、江別及び江差保健所に公害係がない理由並びに設置の考え、支庁と保健所の技術的部門の強化、(2)歯誠学園の寄附金返還問題に関し、説明会の実施状況と道の指導

舟山広治委員(社会)から、(1)エヒノコックス症に関し、発生状況及び感染経路並びに対策、(2)医師の偏在問題に関し、改善の状況、札幌歯科医師会適正配置委員会に対する道の対応、医師会、歯科医師会に対する行政指導、国の医師等の供給抑制方針についての対応

川崎守委員(共産)から、道立江差病院の運営等に関し、午後に来来診療を行わない理由、往診を実施する考え、精神科を設置する考えについて

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

○9月11日(金) 午後2時19分、第9委員会室
において開議、午後3時42分
散会

委員長 石山 直行(自民)

一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、大雨による被害及び措置状況について報告。
- ② 民生部長から、昭和56年第1回臨時会提出予定案件について説明。
- ③ 民生部長から、第2次北海道ウタリ福祉対策について報告。
- ④ 民生部長から、社会福祉法人民生博愛会の監査結果について報告。
- ⑤ 民生部長から、行政改革のその後の経過に

ついて報告の後、

関根建二委員（社会）から、乳児院及びアフターケアの問題に関し、札幌市との協議経過と内容、知事答弁と部長報告との整合性、市と道の理解内容の違い、市議会の請願採択と市・道との意思の再確認

湯本芳志委員（社会）から、市と道の理解内容の違い

川崎守委員（共産）から、市議会と市の認識の同一性及び再確認の必要性について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

- ⑥ 衛生部長から、道立病院の再編整備についての経過と現状に関し報告の後、

関根建二委員（社会）から、3定提案後における委員会での十分な審議等について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁の後、関根委員から、本件に関する今後の委員会審議の進め方について発言があり、委員長から理事会において協議する旨応答。

商 工 労 働 委 員 会

○8月7日（金） 午後1時41分、第8委員会室において開議、午後2時26分散会

委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施したテクノポリスの建設及び家庭用灯油の安定供給と価格抑制に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 商工観光部長から、釧路商工会議所の運営等について説明の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、釧路商工会議所と市長候補者後援会活動の関連に関し、調査指導に対する道の取り組み姿勢、イトーヨーカ堂からの金品の授受に対する事実関係の確認方法、釧路商工会議所会頭に係る金銭問題に関する調査、指導の取り組み方

（関連して、湯田倉治委員（道政）から、指導のあり方について）

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ④ 企業局長から、8月集中豪雨に伴う被害状況について説明。

- ⑤ 輪島幸雄委員（社会）から、シルバー人材センターに関し、設置促進及び道の財政援助について

質疑があり、労働部長から答弁。

- ⑥ 湯田倉治委員（道政）から、災害による発電所の運転休止状況について

質疑があり、商工観光部長から答弁。

○9月2日（水） 午前11時6分、第8委員会室において開議、午前11時38分散会

委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した各常任委員会合同の8月豪雨による被害についての視察及び台風15号による大雨被害を含めた中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、8月豪雨並びに台風15号による災害状況及び被災対策について説明の後、

湯田倉治委員（道政）から、災害資金の予算措置、鉱業関係の被害内容について質疑があり、商工観光部長から答弁。

- ③ 商工観光部長から、家庭用灯油の最近における需給と価格動向について説明の後、

湯田倉治委員（道政）から、家庭用灯油の価格に関し、便乗値上げの額、標準額を設定する考え、安売業者に対する業界の動向の監視について

（関連して、柳谷正一委員（公明）から、灯油の在庫量の確保について）

質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○9月11日（金） 午後2時17分、第8委員会室において開議、午後2時20分散会

委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長及び企業局長から第1回臨時会提出予定案件について説明。

農 務 委 員 会

○8月6日(木) 午後1時45分、第7委員会室
において開議、午後3時59分
散会
委員長 若狭 靖(自民)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した大蔵大臣の道産米批判発言に関する中央折衝の概要について口頭及び報告書により報告、異議なく了承の後、農務部長から経過報告。
- ② 委員長から、昭和57年度開発予算等に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、北海道地方競馬運営委員会委員に若狭靖委員長(自民)及び吉野之雄副委員長(社会)を推せんすることを、異議なく決定。
- ④ 農務部長から、8月4日から5日の前線に伴う大雨災害の被害状況及び農作物生育状況について説明の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、被害の実態把握と農業の確保、被害の確定に関する市町村への指導

石川十四夫委員(道政)から、ダムの放水と被害との関連

高橋正四郎委員(自民)から、小麦の倒伏に対する技術指導

青山章委員(自民)から、石狩川の太平洋分流通河の建設について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁の後、委員長から、岡本栄太郎委員(社会)実施から発言のあった大雨災害の実態調査について理事会において協議する旨応答。理事会開催のため暫時休憩、再開後、委員長か

ら、8月10日から12日までの3日間、大雨災害現地調査の実施については、異議なく決定。

- ⑤ 農務部長から、昭和56年産生産者米価及び昭和56年産特別自主流通米助成について説明の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、特別自主流通米奨励金の減額決定に対する見解について質疑があり、農務部長から答弁。

- ⑥ 農務部長から、昭和57年度農業関係国費予算の要望について説明の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、要望書に関し、北海道農業に関する重要課題にかかる部分の別建て作成の考え、政策の欠如

神本三也委員(社会)から、てん菜の原料処理に関する要望内容と総合開発調査特別委員会に対する提出資料とのそごについて質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ⑦ 農務部長から、酪農経営負債整理資金特別融通助成事業の骨子案について説明の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、組勘を利用しない条件での事業実施の可否、本事業の適用を受けられない農家の処遇、20年償還資金の利子補給の負担割合、20年償還資金の需要額の確保

神本三也委員(社会)から、乳価据置き等経営環境の悪化条件下における再建計画の立案見通し、個人と農協間の自主的取引の制限の可否、組勘を利用しない場合の経費増について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○8月27日(木) 午後2時6分、第7委員会室
において開議、午後3時6分
散会、委員長事故のため、
副委員長 吉野之雄(社会)

一 般 議 事

- ① 副委員長から、昭和57年度農業関係国費予算並びに昭和56年8月豪雨災害対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 副委員長から、8月3日から6日にかけて

の前線と台風12号による集中豪雨の被害状況調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ③ 副委員長から、8月3日から6日にかけての前線と台風12号による大雨災害に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期は明28日から29日までの2日間、派遣委員は正副委員長及び村上孝明委員（自民）とすることとした。

- ④ 農務部長から、8月の大雨災害に伴う農作物等の被害状況について説明の後、

神本三也委員（社会）から、被害を受けた麦の穂発芽に関する共済等の対策についての考え方、秋播小麦の種子及び飼料の確保対策、水田転作地帯の麦の共済加入対策と指導方法

岡本栄太郎委員（社会）から、台風15号による風害を的確に調査する方法、農地の流失及び埋没に関する災害復旧対策、災害資金等の貸付条件についての特別な配慮方

石川十四夫委員（道政）から、災害対策本部における責任ある被害対策

高橋正四郎委員（自民）から、統計情報事務所の被害状況調査との差の解消方、他関係省庁、部との調整による万全な被害対策

渋谷澄夫委員（社会）から、葉しょ褐変病の発生要因とその対策について

質疑、意見及び要望があり、農務部長及び主任専門技術員から答弁。

- ⑤ 副委員長から、台風15号による被害状況調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期は9月3日、実施場所は空知、留萌支庁、後志・胆振支庁管内とし、正副委員長を長とする2班編成により行うこととした。

本日聴取した陳情

8月豪雨等に係る災害対策推進について

北海道農民連盟副委員長

○9月4日（金） 午後零時29分、第7委員会室において開議、午後2時10分散会

委員長 若狭 靖（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した8月3日から6日にかけての前線と台風12号並びに台風15

号による大雨災害に関する正副議長及び常任委員会代表による中央折衝並びに本委員会としての中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 農務部長から、昭和57年度農業関係国費予算要求の主要事項について説明の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、新地域農業生産総合振興対策事業と畜産総合対策事業の概要把握、北海道特産事業、てん菜、自給飼料及び耕土地事業等の確保、農業機械の導入、更新に対する優遇制度の継続、国内農業機械の高価格の解明

渋谷澄夫委員（社会）から、前年度比100.2%の予算要求額と労賃及び資材の高騰に伴う事業量との関係について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁

- ③ 農務部長から、農作物生育状況について報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、霜害予防対策

神本三也委員（社会）から、馬鈴薯等の生育遅れの秋播小麦の播種に及ぼす影響とその対応策

渋谷澄夫委員（社会）から、作物別の作況指数の発表と生育遅れのビート対策について質疑、意見及び要望があり、農務部長及び主任専門技術員から答弁。

- ④ 岡本栄太郎委員（社会）から、(1)りんご経営安定特別事業の期間延長の考え、果樹共済の加入率の上昇と制度の充実方策、(2)酪農経営負債整理資金の利子軽減に伴う利子補給の負担割合と単協の負担に対する考え方

神本三也委員（社会）から、士別市のトヨタ自動車試験場建設予定地の農業振興地域の取り扱い、農用地区域除外に関する農林水産省と道の合意内容、農用地区域除外と補助金の返還及び関係各部の連携について

（関連して、岡本栄太郎委員（社会）から、士別市の農業振興対策と道の指導内容について）

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○9月11日（金） 午後2時18分、第7委員会室
において開議、午後2時41分
散会

委員長 若狭 靖（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した災害状況に関する現地調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、第1回臨時会提出予定案件について説明。
- ③ 岡本栄太郎委員（社会）から、57年度米穀需給計画と道産米の消費拡大対策、新食管法の施行に伴う58米穀年度からの米需給計画に対する影響とその対応策、道産自主流通米の具体的な道内消費計画と取り組み姿勢について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

建設委員会

○8月5日（水） 午後3時21分、第4委員会室
において開議、午後3時42分
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

一般議事

- ① 附属機関等の委員について、北海道建築審査会委員及び北海道開発審査会委員に笹浪幸男委員長（自民）を、北海道住宅対策審議会委員に委員長、野村權作委員（自民）、萩上元春委員（社会）及び勝木省三委員（道政）を、北海道住宅供給公社運営委員に中川隆之副委員長（道政）及び和田勝之委員（自民）を、北海道道路利用者会議委員に委員全員を、北海道土地開発公社土地利用開発推進委員会委員に委員長及び萩上委員をそれぞれ推せんすることをはかり、異議なく了承。
- ② 委員長から、さきに実施した道路整備特定財源の確保及び大雨災害対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、昭和57年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく法定。

- ④ 土木部長及び住宅都市部長から、8月3日からの大雨による災害状況について報告の後、

星野健三委員（社会）から、札幌市伏龍川と茨戸川の河川氾濫に関し、石狩放水路を機能させる考え

鈴木誠二委員（社会）から、道の災害対策本部を設置する考え、石狩川開建と道及び関係市町村との十分な連携と住民への対応、ペンケ歌志内川に係る露天堀と鉄砲水による被害との関連についての調査について質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

○8月17日（月） 午前10時54分、第4委員会室
において開議、午前11時20分
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和57年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、さきに実施した8月3日から6日にかけての前線と台風第12号による集中豪雨の各常任委員会代表災害状況視察の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、8月3日から6日にかけての前線と台風第12号による大雨災害状況について報告の後、
西尾六七委員（自民）から、災害復旧の状況に関し、国道40号線の音威子府、中川間及び道道板谷恩根内停車場線の開通の見通し、復旧に際し改良復旧工事の推進、復旧事業に係る国の補助の特例措置の確保、がけ地危険住宅移転事業の推進について質疑、意見及び要望があり、土木部長及び住宅都市部長から答弁。

○9月11日（金） 午後2時18分、第4委員会室
において開議、午後2時36分
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した石狩、空知支

庁管内における大雨災害の被災状況調査の概要及び8月3日から6日にかけての前線と台風第12号並びに第15号による大雨災害に関する各常任委員会代表合同中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 土木部長及び住宅都市部長から、大雨災害状況について報告。
- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、第1回臨時会提出予定案件について説明。

農 地 開 発 委 員 会

○8月6日(木) 午前10時58分、第3委員会室
において開議、午前11時37分
散会
委員長 伊藤 豪(道政)

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、道営工事の第1・四半期発注状況について説明。
- ② 農地開発部長から、8月4日の大雨災害の概況について説明の後、
影山豊委員(無所属)から、的確な被害状況の把握、石狩川治水事業の徹底的な見直し
佐藤静雄委員(自民)から、予想される被害

土屋良三委員(自民)から、小河川に係る災害復旧を農業サイドで取り組む考え、農地保全を目的とした小河川の排水と内水排除機について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

- ③ 委員長から、石狩、空知管内における災害及び農業基盤整備事業の実施状況調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○8月24日(月) 午前10時50分、第3委員会室
において開議、午前11時45分
散会
委員長 伊藤 豪(道政)

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、8月豪雨による農地・農業用施設の被害及び措置状況について報告

の後、

影山豊委員(無所属)から、50年災害との比較、内水排除機の運転機能停止の有無とその維持管理費の農民負担軽減についての考え方、災害復旧工事繰上げ実施にかかる国に対する要望、農地保全施設の被害状況、留萌管内の災害復旧工事による作業員の死亡事故実態と保安対策及び災害見舞金等の支給について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

- ② 委員長から、さきに実施した8月3日から6日にかけての前線と台風12号による集中豪雨による各常任委員会代表災害状況視察の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、さきに実施した昭和57年度農業基盤整備関係国費予算及び昭和56年8月豪雨災害による農業関係災害対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ④ 委員長から、8月豪雨災害の要望等に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○9月11日(金) 午前10時30分、第3委員会室
において開議、午前10時50分
散会
委員長 伊藤 豪(道政)

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した8月3日から6日にかけての前線と台風12号及び15号による大雨災害に関する正副議長及び各常任委員会代表合同中央折衝並びに8月3日からの豪雨災害の被害状況及び農業基盤整備事業の事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農地開発部長から、台風15号による農地、農業用施設の被害とその措置状況について報告。
- ③ 農地開発部長から、昭和56年第1回臨時会提出予定案件について説明。

水産委員会

○8月6日(木) 午後1時52分、第6委員会室
において開議、午後2時43分
散会
委員長 新沼 浩(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、さけ定置漁業における「ノルマ制」について説明の後、
長岡寅雄委員(社会)から、「ノルマ制」が昨年実施されなかった理由及び今年の実施見通し、関係漁業者の反対の有無
武部勤委員(自民)から、所得の公平配分についての考え方、密漁と混獲対策
滝沢勉委員(自民)から、漁獲地域内の好、不漁に伴う共済組合対策、「ノルマ制」による漁協の増殖及び密漁防止対策の意欲低下について
質疑、意見及び要望があり、水産部長より答弁。
- ② 委員長から、北海道水産物規格調査会委員に、新沼浩委員長(自民)、阿部恵三男委員(自民)、滝沢勉委員(自民)、長岡寅雄委員(社会)をそれぞれ推せんすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、道内における水産事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、さきに実施した日米合同訓練に伴う被害補償等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 水産部長から、8月豪雨災害状況について報告の後、
武部勤委員(自民)から、さけ・ます捕獲場の早期復旧と委員会の現地調査の実施について
要望があり、水産部長から答弁、委員長から応答。
- ⑥ 砂原清治委員(社会)から、石狩湾における海上自衛隊の演習の実態と操業支障の有無、安全監視体制について
質疑があり、水産部長から答弁。

○8月26日(水) 午後1時13分、第6委員会室
において開議、午後1時54分

散会

委員長 新沼 浩(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、8月豪雨による水産関係被害状況とそれに対する措置状況について報告の後、
武部勤委員(自民)から、ふ化施設等の早期復旧と流木等の除去費に対する援助
原清重委員(社会)から、7月災害の取り扱い、海産干場の復旧対策に関する道の考え方、天然の昆布及びウニの被害額への算入の有無
長岡寅雄委員(社会)から、増養殖物被害の的確な把握、移転を含めた斜里ふ化場の災害復旧対策の検討、河川改修の促進について
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。
- ② 委員長から、さきに実施した8月豪雨による災害の各常任委員会合同現地調査及び網走支庁管内の本委員会現地調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、さきに実施した7・8月豪雨災害によるさけ・ます増殖施設関係緊急対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ④ 委員長からさきに実施した昭和57年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 水産部長から、貝殻島コンブ漁交渉の妥結について報告。

○9月11日(金) 午後2時22分、第6委員会室
において開議、午後2時35分
散会
委員長 新沼 浩(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、7・8・9月における台風並びに豪雨による水産関係被害状況等について報告の後、
長岡寅雄委員(社会)から、ふ化放流施設の被害の資源増大計画に及ぼす影響について
質疑があり、水産部長から答弁。
- ② 委員長から、さきに実施した今次豪雨災害等に関する正副議長及び各正副常任委員長に

よる中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ③ 水産部長から、第1回臨時会提出予定案件について説明。

文 教 林 務 委 員 会

○8月6日(木) 午前11時19分、第10委員会室
において開議、午後零時55分
散会
委員長 中田 繁夫(社会)

一 般 議 事

- ① 附属機関等の委員について、北海道文化振興審議会委員に中田繁夫委員長(社会)及び佐々木利昭副委員長(自民)を、北海道暴力追放運動推進協議会委員に委員長を推せんすることに決定。
- ② 委員長から、道内における文教林務事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 教育長から、道立高等学校入学者選抜実施方法の改善及び札幌女子教員養成所の学生の募集停止について報告。
- ④ 教育長及び林務部長から、8月3日からの大雨による災害状況について報告。
- ⑤ 小笠原孝委員(自民)から、林産業の振興と不況対策に関し、業界の不況についての認識、木材需要の拡大への取り組み方と成果についての報告、学校施設等における木材需要の拡大と情操教育との関連

米村邦敏委員(社会)から、(1)林業に対する学校教育に関し、道産材の愛用及び自然に親しむ教育の現状と今後の取り組み方、(2)小樽港近海で実施予定の海上自衛隊の演習に関し、演習計画の内容、見学の児童・生徒の安全確保に対する指導方、(3)害虫対策に関し、ブラコン毛虫による林業被害の現状及び大量発生の原因の究明方、コガネ虫の異常発生の状況と駆除対策

工藤万砂美委員(自民)から、林産業の振興に関し、森林資源のエネルギーとしての利用方策及び研究開発の推進、燃料価格の比較

検討について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び林務部長から答弁。

○9月11日(金) 午後2時16分、第10委員会室
において開議、午後3時58分
散会
委員長 中田 繁夫(社会)

一 般 議 事

- ① 教育長、林務部長及び学事課長から、大雨災害状況の報告及び第1回臨時会提出予定案件について説明の後、
熊谷克治委員(社会)から、台風15号による風倒木被害に関し、カラマツ被害の原因、風倒木処理の具体策、民有林救済措置等について
質疑があり、林務部長から答弁。
- ② 教育長から、道立高等学校入学選抜実施方法の改善について報告の後、
熊谷克治委員(社会)から、推薦入学制に関し、本制度を導入した理由、推薦の方法及び生徒指導の考え方、推薦対象枠の設定に伴う選抜の考え方、中学校の推薦委員会と高等学校の選抜委員会との相互調整制度の検討方について
(関連して本間喜代人委員(共産)から、中学校の推薦委員会設置の考え方、推薦入学定員を超過した場合の対処策、選抜基準設定の考え方について)
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。
- ③ 教育長から、苫小牧工業高校生徒の登山死亡事故について報告。
- ④ 小野秀夫委員(道政)から、胆振西学区の新設高校に関し、建設地の決定が遅れている理由、建設候補地選定の考え方、建設地決定に当たっての純教育的な配慮方について
(関連して、本間喜代人委員(共産)から、建設地決定の時期)
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。
- ⑤ 本間喜代人委員(共産)から、釧路市春採湖の天然記念物ヒブナに関し、環境悪化に対する認識、ヒブナの保護対策の必要性等について
質疑及び意見があり、教育長から答弁。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○8月21日（金） 午後2時8分、第1委員会室
において開議、午後3時45分
散会

委員長 吉田 政一（自民）

① 委員長から、さきに実施した昭和57年度北海道開発関係予算に関する中央折衝及び北海道国庫補助負担の特例措置の存続に関する要望の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 熊谷克治委員（社会）から、開発計画と地域エネルギー開発利用調査に関し、想定経済成長率の相違理由、地域エネルギー調査における想定成長率の最低と最高の差についての受けとめ方と内容の分析、発展計画の進捗管理の姿勢

吉田英治委員（社会）から、発展計画に係る土地、住宅問題に関し、地価上昇の原因とその抑制策、住宅供給目標について中間予測を示す考え、発展計画の中間見直し時期、各個別計画指標との対比資料の提示

川崎守委員（共産）から、第2臨調と発展計画に関し、臨調の性格についての認識、臨調答申の北海道特例に与える影響、具体的資料に基づく国への対応、発展計画の見直しについて

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

石炭対策特別委員会

○8月17日（月） 午後3時20分、第11委員会室
において開議、午後4時20分
散会

委員長 宇川 源吉（自民）

① 委員長から、さきに実施した第7次石炭政策の確立並びに適正炭価に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 商工観光部次長から、第7次石炭政策の答申内容などに関する報告並びに「8月上旬の前線及び台風12号による北海道の大雨」による炭鉱関係等被害状況について報告の後、

藤井虎雄委員（社会）から、(1)第7次石炭政策の答申に係る道の協力内容の整理報告方 (2)奈井江川の決壊防止についての北電の保安対策のあり方 (3)電力料金値上げについて誤解を与える報道の是正 (4)石炭灰の活用研究について北電との協議の必要性

湯田倉治委員（道政）から、被災した奈井江発電所の停止による供給炭の余剰処理、貯炭場所、金利負担の救済措置についての考え

工藤万砂美委員（自民）から、北電の納炭引取りの見通し、炭鉱及び集炭業者に対する金融対策、奈井江発電所の運転再開促進に対する開発局及び北電との協議について
質疑、意見及び要望があり、商工観光部次長から答弁。

③ 委員長から、新石炭政策確立に関する要望意見案について、配付の案文により発議すること及び本件に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

④ 道内における産炭地域事情調査の実施について、石山直行委員（自民）、岩崎守男委員（社会）及び石川十四夫委員（道政）から意見の後、理事会決定のとおりとすることに決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

⑤ 工藤万砂美委員（自民）から、石炭の利用技術開発に関し、石炭と木質固型燃料の研究状況、褐炭の液化研究に取り組む考えについて

質疑があり、商工観光部次長から答弁。

北方領土対策特別委員会

○9月4日（金） 午前10時34分、第3委員会室
において開議、午前11時散会
委員長 小沢 栄吉（自民）

① 領対本部長から、衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員の来道の結果について

て報告。

- ② 領対本部長から、56・57年度北方領土隣接地域 安定振興対策関係 事業予算 について説明。
- ③ 領対本部長から、総理大臣の北方領土視察の日程等について説明。
- ④ 領対本部長から、北方領土3島6村の編入法案の取扱いに対する道の方針について報告の後、委員長から本報告のとおり了承すること及び本件に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ⑤ 領対本部長から、北方領土返還祈念シンボル像除幕点火式について報告の後、委員長から除幕点火式に対する委員の派遣については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

公害対策特別委員会

- 9月11日（金） 午後5時3分、第2委員会室において開議、午後5時4分散会
委員長 高木 繁光（自民）
- 委員長から、北海道公害対策審議会委員の推せんについては、高木繁光委員長（自民）及び輪島幸雄副委員長（社会）を異議なく選出。

災害対策特別委員会

- 9月12日（土） 午後6時36分、第1委員会室において開議、午後6時50分散会
委員長 東 典俊（自民）

正副委員長の互選

- ① 田莉子政太郎臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、関根建二委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって東典俊委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、若狭靖委員（自民）の動議により指

名推選の方法をもって岡本栄太郎委員（社会）を副委員長に選出。

- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後6時41分休憩、午後6時43分再開。本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選びその協議により行うことをはかり、異議なく決定。なお、共産党については、オブザーバーの扱いとすることとした。理事には、若狭靖委員（自民）、青山正男委員（自民）、関根建二委員（社会）、小田原要四蔵委員（社会）、伊藤豪委員（道政）、柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 審査の日程については、異議なく配付の日程のとおりとすることに決定。
- ⑤ 付託議案に対する審査の方法について、付託議案を一括議題とし、質疑は各部一括して行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 質疑の方法について通告の形式により、一括してこれを行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑦ 議席については、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑧ 本委員会の今後の運営方法等については、理事会の協議により行うことをはかり、異議なく決定。

- 9月13日（日） 午前10時29分、第1委員会室において開議、午後6時38分散会
委員長 東 典俊（自民）

付託案件の審査

- 議案第1号（昭和56年度北海道一般会計補正予算（第2号））、議案第2号（昭和56年度北海道有林野事業会計補正予算（第1号））、議案第3号（昭和56年度北海道電気事業会計補正予算（第1号））を一括議題とし、
松本勇委員（自民）から、(1)被害農家の救済対策に関し、資金対策の進め方、特例の自作農維持資金の融通の必要性、農家救済に対する農協の対応についての指導方策、麦共済の加入状況、転作地帯の加入率が低い理由及

び加入の促進策、規格外麦の価格差補てん措置と麦振興特別基金の増額の見通し (2)風倒被害木の処理に関し、処理事業費の経費の掛かり増し率とその補てん措置及び現行以外の助成制度、処理資金の確保策 (3)北電奈井江発電所の災害に関し、納炭業者等への影響と現在までの処置状況、石炭の引き取り状況と納炭業者等の救済措置 (4)河川の維持管理に関し、道管理河川の整備状況と維持補修工事費の増額 (5)災害防止のあり方に関し、道単独事業による災害防止への取り組み、災害復旧事業との合併施工による効果 (6)道路横断暗渠事業に関し、横断管による道路被害の状況、開発行為等との協議の十分性、環境変化に伴う既設管、断面規格の見直し (7)総合治水対策に関し、関係機関の連絡調整機能体制についての具体的構想

神本三也委員（社会）から、(1)林業災害に関し、被害の特徴、カラマツ被害の受けとめ方と予算措置等の対策を講じない理由、森林総合整備事業及び間伐促進事業の調整による対策の推進と森林組合等への指導方針、処理資金の確保策、森林組合の運営資金の援助措置、特定地域の被害集中に伴う消費・流通対策、復旧造林に対する補助率の引き上げ及び苗木代の全額助成に対する見解、造林補助金の早期交付及び森林国営保険の早期支払いの見通し、山林所得税の特別控除の適用範囲、林地開発行為の許可に基づく牧草地造成に係る災害の有無 (2)農業被害対策に関し、50年災害に基づく取り組みの内容、水田転作地帯の被害の受けとめ方と転作作物の被害状況、転作目標面積の緩和措置の必要性和国への働きかけ方、規格外麦に係る販売促進事業の予算化と価格差補てんとの関連性及び国の措置の見通し、麦共済の損害評価に係る修正率の算定方法と今次被害の反映、リンゴ経営安定特別対策事業の継続、制度資金の貸付け年齢制限等の緩和措置、果樹園の潮風防止施設の整備充実及び再建に対する助成事業の拡充、バレイショ等の湿害の実態 (3)農地災害復旧に関し、災害査定等の復旧対策についての取り組み状況と明年度の営農に対する配慮の有無、主な被害地帯と河川管理の実態及びその

的確性、復旧限度額以内の完全復旧の目途、河川復旧との関連性の考慮、復旧に当たっての農民負担の軽減 (4)樋門、樋管の管理に関し、被害箇所と被害の状況及び操作等の経過、操作の委託契約の要領に基づく点検等の状況とその当否、委託による市町村の管理状況の再点検、被害者に対する十分な対応方

関根建二委員（社会）から、(1)札幌等の都市部における災害防止に関し、河川の管理と防災体制及び責任の所在、50年災害以降の砂防河川指定による整備状況、河川敷地と宅造区域の現状、河川敷地内の違反建築物の被災に対する対応、河川上流の開発行為と住民被災との関係、決壊等による危険箇所の早期復旧対策、流失橋梁等の修復と河川復旧に対する考え方及び関係住民に対する配慮、都市河川の点検と防災対策の十分性及び今後の対応策、緊急対策としての水防資材・応急橋梁の配置、急流河川の勾配緩和に対する三面護岸及び落差工の施工に対する見解、危険宅地の指定基準と道の点検・指導の状況及び今後の対策、宅地開発行為の認可に当たっての防災措置に関する指導と地質調査等の十分性、道防災会議におけるがけ崩れ等の予想区域の指定の趣旨と防災工事未着手の理由及び指定の見直し、宅地開発に当たってのがけ面保護に対する擁壁の設置状況と設置基準及び災害との因果関係、建築基準法に基づく災害危険区域の指定状況、札幌市の急傾斜地を区域指定する考えと開発規制措置、河川敷地及び周辺における宅地造成の許可と建築確認に当たっての安全対策上の指導方策 (2)災害補償問題に関し、河川の管理瑕疵に伴う国家賠償法上の損害賠償責任、被災住民から損害賠償請求があった場合の対応及び判例等の関係 (3)学校施設の防災対策に関し、災害発生予想区域外の災害発生に伴う学校周辺の総点検及び災害防止対策の考え方、通学道路の安全対策についての配慮

小田原要四蔵委員（社会）から、(1)奥尻町の災害対策に関し、災害と島の特殊性との関係の把握状況と防災対策との関連、海岸保全とがけ崩落防止についての対策上のそご及びその解消策、灯油備蓄タンクの早期修復と財

源措置、類似タンク設置に伴う防護策 (2)有珠山対策に関し、防災対策の基本的な方向づけ及び現在までの巨額投資等との関係、ダムの土砂堆積量と第4火口における余裕量、火口原の隆起と火山灰層の透水系数に係る防災のあり方 (3)防災体制に関し、水害に対する基本的認識、治山治水事業に対する基本的な考え方、都市河川の管理区分、都市河川に関する行政管理庁の行政監察結果報告における指導事項と順守の有無、道の地域防災計画に基づく被害予想区域の指定と急傾斜地の指定及び建築基準法に基づく災害危険区域の指定との係わり合い、指定区域以外の災害発生に伴う指定のあり方、都市開発行為の許可に当たっての防災、排水処理等のチェック体制と規制の強化、防災関係資料の収集・整理の考えと資料に基づく防災計画の推進の必要性、防災意識の向上に対する抜本的対策、災害時の情報の把握と住民に対する広報活動のあり方 (4)災害に伴う予算措置に関し、公・私立高校間の奨学金援助措置の差異の理由、財政調整基金の運用の必要性、一般住宅の復旧と災害救助費及び負傷者に対する配慮の欠如、国直轄災害復旧事業の負担金計上の当否、災害実態の調査及び資料収集に対する予算措置方

星野健三委員（社会）から、(1)石狩川本川の美原地区及び下篠津地区の洪水氾濫に関し、原因と再発防止対策及びその十分性 (2)幌向川の決壊に関し、原因と復旧対策、築堤工法の適否と見直しの必要性 (3)茨戸地区の洪水氾濫に関し、原因と今後の対策、内水氾濫対策に係る札幌市への指導 (4)東米里地区の水害に関し、水害の状況、原因とその対策及び解消の日程 (5)石狩放水路に関し、開門決定の責任者と操作基準 (6)急傾斜地の災害に関し、藻岩山登山道路付近の土砂流出等の原因と再発防止措置 (7)札幌市内の浸水地帯の対策に関し、北商団地の浸水の原因と復旧の仕方及び下水道整備の目途、北27条西16丁目周辺及び新琴似4条から6条周辺の浸水の原因とその対策について

質疑、意見及び要望があり、農務部長、林務部長、商工観光部長、土木部長、農地開発部

長、住宅都市部長、総務部長及び教育長から答弁。

本日聴取した陳情

8月豪雨、台風、長雨等に係る災害対策について

北海道農民連盟 書記長

○9月14日（月） 午前10時33分、第1委員会室において開議、午後3時42分散会

委員長 東 典俊（自民）

付託案件の審査

① 議案第1号ないし第3号を一括議題とし、原清重委員（社会）から、(1)被災市町村に対する財政措置に関し、50年災害の被害額と特別交付税の総額、今次災害に係る特別交付税の算定方法と支給時期等の見通し (2)日高管内の水産被害対策に関し、被災対策補助事業における流木以外の補助対象、市町村以外の事業主体に対する補助の考え、ニカンベツ河口の土石除去に係る砂利採取料徴収の考え方と災害対策の基本姿勢との関係 (3)急傾斜地の住宅対策に関し、日高管内において住宅移転を要する地域、治山激甚災害対策特別緊急事業の内容と事業適川の実現方、同一敷地内の住宅移転及び中古住宅の購入に対する助成措置、門別町等の応急仮設住宅の供与期間と経過後の扱い (4)災害時の交通確保等に関し、災害時の交通規制の責任主体、迂回路の決定権者と標示のあり方、日高管内の交通体系と河川等の総合的見直し、国道の迂回道路網の整備 (5)災害復旧のあり方に関し、応急工事等に係る処置と国の災害査定業務との関係、早期査定に対する道の対応、被災地への支援体制と財政措置、災害復旧等事業の見直しと関係機関との連絡調整のあり方 (6)地域住民の安定対策に関し、日高線の復旧に係る土砂海中投棄についての漁民との対応、早期開通に対する国鉄への働きかけ方、災害復旧工事の地元発注等日高地方の経済振興についての配慮

中川隆之委員（道政）から、被災果樹農家の安定対策に関し、自作農維持資金等の借入れ実態、長期低利の融資の必要性、貸付年齢

制限の緩和、復旧資材としてのカラマツの活用、サクランボ苗木の確保等の配慮、果樹共済の事業主体と加入率が低い理由、損害評価のあり方と共済団体への指導方策、ブドウ・ナシの共済がない理由と果樹共済の促進方

柳谷正一委員（公明）から、(1)災害時の道路管理等に関し、道路ののり面の管理主体、危険個所の指定状況と被害状況、指定の見直しと危険個所の解消対策、のり面の保護工法の見直しについて国への要請方、市町村道を迂回路とする場合の維持費等の扱い、道路の管理瑕疵による事故補償体制、国道228号線の災害死亡事故に伴う遺族への配慮について国への要請方 (2)急傾斜地対策に関し、危険個所の指定状況と保全対象戸数及び今回の被害個所数、未指定個所の被災状況と道の対応及び指定の促進、指定基準の問題点と基準緩和に対する国への働きかけ (3)住宅被害対策に関し、公営住宅の建設、持ち家復興資金の対策の状況、道営住宅の建設戸数、公営住宅の被害状況の把握と建設計画及び市町村への働きかけ方、家賃の取り扱いについての考え方、住宅金融公庫の融資による建設住宅の被災に伴う特約火災保険金の支払いと償還期間延長等の見通し、がけ地近接危険住宅の移転事業に係る市町村への指導状況と道の援助対策及び事業の推進 (4)農地災害対策に関し、工事中の災害件数と被害額、損害負担区分と算定方法、工事中の被災事業と工法等の検討の余地、事業継続についての考え方と予算措置、災害による工期への影響と延長等の考え及び請負業者に対する配慮

本間喜代人委員（共産）から、(1)自衛隊演習場の防災体制に関し、ベベルイ川氾濫に係る上富良野演習場の防災対策の措置状況、今回の被害調査に対する道の対応、防災計画及び被害補償との関係、今後の防災体制のあり方 (2)銭函の星置川の氾濫に関し、切りかえ改修工事の状況と応急対策 (3)ダム管理等に関し、洪水に伴う雨竜ダム、大夕張ダムの管理運営と操作のあり方 (4)排水機場の運転員の処遇に関し、実態の把握と改善等に対する取り組み (5)果樹被害対策に関し、倒伏果樹の搬出に対する補助体制と今回の予算措置の

十分性、補助対象面積の算定方法と今後の対処策 (6)激甚災害指定外市町村に対する財政措置について

質疑、意見及び要望があり、総務部長、水産部長、土木部長、住宅都市部長、林務部長、民生部長、農地開発部長、開発調整部長、商工観光部長及び農務部長から答弁。土木部長から本間喜代人委員（共産）の質疑に対する答弁の一部訂正発言があって、付託案件に対する質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午後3時20分休憩、午後3時26分再開。

- ② 委員長から、各派代表者会議における付託案件に対する意見調整の結果を報告の後、議案第1号ないし第3号をいずれも原案可決することについてはかり、異議なく決定。ついで、小田原要四蔵委員（社会）から、本委員会における審議の経過にかんがみ、議案第1号については4項目の付帯意見を委員長報告に挿入されたいとの動議が提出され、賛成があって動議は成立、これをはかって異議なく本動議のとおり決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願・陳情の審査

陳 情

第67号 7月及び8月豪雨並びに台風第15号災害対策に関する件（採択）

その他の議事

- ① 小田原要四蔵委員（社会）から、昨日の委員会における発言の一部について訂正方申し出があった。
- ② 委員長から、集中豪雨等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施並びに台風第18号から変った低気圧と前線などによる被災地等の現地調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

本日聴取した陳情

日高地方における災害対策について

日高町村会 会長

企業会計決算特別委員会

○7月11日(土) 午後4時40分、第11委員会室
において開議、午後4時47分
散会

委員長 藤井 猛(自民)

正副委員長の互選

- ① 高橋正四郎臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法については、関根建二委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって藤井猛委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、久田恭弘委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって舟山広治委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議の結果、本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により行うことをはかり異議なく決定。理事には、高木繁光委員(自民)、久田恭弘委員(自民)、神本三也委員(社会)、勝木省三委員(道政)及び工藤啓二委員(公明)をそれぞれ選出。
- ④ 本委員会の申し合わせ事項「(1)質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答方式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。(2)発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。(3)委員の交代は、原則として認めないこと。(4)資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。」については、異議なく決定。
- ⑤ 委員外議員の発言の取り扱いについて、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に許可すること、書面審査及び資料要求は認めないことに決定。

○7月16日(木) 午後6時13分、第11委員会室
において開議、午後6時19分
散会

委員長 藤井 猛(自民)

- ① 議席については、異議なく配付の議席

表のとおりとすることに決定。

- ② 審査日程について、配付の日程表のとおりとすることに異議なく決定。
- ③ 報告第49号ないし第55号を一括議題とし、衛生部長、林務部長、住宅都市部長及び公営企業管理者から各会計決算の概要並びに代表監査委員から各会計決算に対する審査意見について説明。
- ④ 決算審査のため必要な資料については、異議なく配付の項目により要求することに決定。
- ⑤ 付託の報告第49号ないし第55号について、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、企業会計決算に係る現地調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑦ 今後の審査日程について、7月20日から24日まで、27日から31日まで、8月4日から7日まで、8月10日及び17日から20日、24日を書面審査とすることに決定。
- ⑧ 書面審査室を第2委員会室に設置することを了承。

○8月21日(金) 午前10時24分、第2委員会室
において開議、午後4時46分
散会

委員長 藤井 猛(自民)

- ① 委員長から、7月18日の委員会決定に基づく資料及び追加資料の提出があった旨報告。
- ② 委員長から、さきに実施した企業会計決算に係る現地調査の概要について報告書が提出されている旨報告、異議なくこれを了承。
- ③ 報告第50号(昭和55年度北海道有林野事業会計決算に関する件)を議題とし、林務部所管に対する質疑に入り、
神本 三也委員(社会)から、
(1) 道有林の基本計画に関し、地域産業育成に対する具体的役割、水資源の涵養・国土保全・保健休養に対する道有林事業執行における配慮、道有林の保全管理の強化に対する考え方、動植物の保護区域設定の状況、保健休養林の指定の状況と今後の指定

の考え方

- (2) 財産管理等に関し、基金の運用の実態、長期貸付事業の今後の見通し、部分林の設定状況と学校林の管理の実態、林野の売払いと今後の苗木生産事業への影響、立木の販売方法及び予定価格と販売価格の相違の理由、副産物の売払い価格の算定方法
- (3) 育林事業に関し、環境緑化樹の生産状況、広葉樹の育成技術に対する取組み等について

関根 建二委員（社会）から、

- (1) 事業の委託に関し、指名と随意契約の発注の基準、道内業者に事業を優先委託する必要性、道造林技術センターへの調査委託の内容と事業の成果
- (2) 財産貸付等に関し、財産の事業外貸付けの用途別内容、使用料の徴収免除の基準、スキー場を経営する民間企業への貸付けに対する考え方、市町村に対する貸付けにおける有償・無償の区別の理由
- (3) 振動病に関し、道有林野事業における安全対策、道内における振動病の実態、チェンソーの使用制限に関する指導監督、無振動機械への切替補助制度の利用実績
- (4) 負担金・補助金に関し、森林開発公団に対する負担金の内容と公団からの事業結果を徴していないことの妥当性等について

岡本 栄太郎委員（社会）から、

- (1) 55年度収支等に関し、当初予算における収支見込みと決算との相違の理由、欠損金処理に対する考え方、造林資金の借入れ状況と今後の償還見通し、基金の取り扱い、交付金、繰出金の内容と再検討の必要性
- (2) 道有林の経営に関し、道有林の蓄積量と伐採量、森林の豪雪対策、技術職員の確保対策、造林事業を随意契約によって行っている理由、大雨災害の状況と復旧対策の取り組み等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長及び同部経理課長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○ 8月25日（火） 午前11時2分、第2委員会室において開議、午後4時49分散会

委員長 藤井 猛（自民）

- 報告第52号（昭和55年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第53号（昭和55年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件）、報告第54号（昭和55年度北海道有料道路事業会計決算に関する件）及び報告第55号（昭和55年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）を一括議題とし、企業局所管に対する質疑に入り、

岡本 栄太郎委員（社会）から、

苫東工業基地に関し、基地用地買収の経過と今後の買収計画、国有地及び苫小牧市有地の買収の見通しと買収価格、基地内の公共緑地の造成計画、住宅団地の売却見通し、土地の原価と売却価格の算出方法等について

（関連して、熊谷克治委員（社会）から、住宅団地に係る措置に対する責任分担の明確化の必要性について）

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁、委員長から舟山広治委員（社会）から質疑通告取り下げの申し出があった旨報告の後、引き続き、

関根 建二委員（社会）から、

- (1) 有料道路事業会計に関し、台風15号による有料道路の被害状況と復旧の見通し、復旧費用の概算、有料道路の収入見込と実績、減価償却費の額、運営経費計上の根拠、一般道道への移管の時期
- (2) 電気事業会計に関し、昭和55年度の重点施策と成果、道営電気事業の公共性に対する見解、充電電力量、金額及び単価、売電契約において定額制をとっている理由、民間と公営企業との間の電力供給に関する機能分担、今後の公営企業のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

○ 8月26日（水） 午前11時3分、第2委員会室において開議、午後3時2分散会

委員長 藤井 猛（自民）

- 報告第49号（昭和55年度北海道病院事業会

計決算に関する件)を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

岡本 栄太郎委員(社会)から、

道立病院の経営等に関し、本道の医療の現状と医療対策についての基本的な考え方、道立病院の設立の経緯と設立目的、施設の整備状況、医師の確保策、病院経営の赤字の実態と今後の方針、累積赤字の解消策等について
関根 建二委員(社会)から、

道立病院のあり方等に関し、増毛病院及び鬼脇病院において外来収益が入院収益を上回っている理由、特別収益の内容、医療基本計画における道立病院の位置づけ、現在の医療従事者の配置の妥当性、役付看護婦等の降職についての特例を検討する考え、北野病院の空床対策と今後の運営方針等について
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

○8月27日(木) 午前10時59分、第2委員会室
において開議、午後零時26分
散会

委員長 藤井 猛(自民)

① 報告第51号(昭和55年度北海道北広島団地
開発事業会計決算に関する件)を議題とし、
住宅都市部所管に対する質疑に入り、

神本 三也委員(社会)から、

北広島団地開発事業に関し、北広島団地の宅地処分計画期間の経過と処分計画変更手続の要否、新住宅市街地開発法の解釈と権利の制限及び買戻権行使の有無、宅地処分の遅延原因、テラスハウス構想の内容、駅前専門店用地の取り扱い、宅地購入資金制度のあり方と利用状況、宅地の処分単価の算定方法と公共施設に係る経費の比率、交通機関の改善対策、計画収容人口の変更と商業団地売却に与える影響、広島町との開発に係わる協定を変更する必要性、事業の最終年次と短縮することの努力方等について

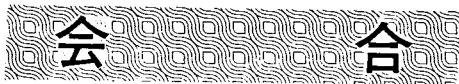
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 委員長から、付託案件に対する意見調整を各派代表者会議において行うことをはかり、異議なく決定。

○8月28日(金) 午前11時23分、第2委員会室
において開議、午前11時26分
閉会

委員長 藤井 猛(自民)

- ① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、報告第49号ないし第55号を一括議題とし、報告第53号及び第54号は認定議決、報告第49号ないし第52号及び第55号は意見を付し認定議決することについてははかり、異議なく決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。



10都道府県議会議長会（第124回）

○8月18日（火） 福岡市において開催。地元福岡県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、協議に入り、兵庫県議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について協議、決定し、ついで、全議事務局長次長から地方行財政と行政改革のあり方についての意見等について説明の後、次回開催地を静岡県に決定して、閉会した。

- 1 市町村社会福祉協議会の法制化について
- 2 消費生活物資の安全対策の推進について
- 3 難病対策の強化拡充について
- 4 身体障害者の雇用促進について
- 5 覚せい剤対策の積極的推進について
- 6 食糧・農業政策の強化拡充について
- 7 国土開発幹線自動車道の建設促進について

北海道・東北6県議会議長会（第61回）

○9月18日（金） 盛岡市において開催。地元岩手県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、福島県議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定し、議決事項の処理方法について、議案第1号を除く19議案は、政府関係機関に陳情することとし、議案第9号、第12号を除く17議案については、全国議会議長会に提案することに決定し、引き続き、次回開催地を北海道に決定。ついで、全議事務総長から、最近の中央情勢などについて説明があり、閉会した。

- 1 地方議会議員及び首長選挙の公営拡充について（継続審査）
- 2 行政改革の実施について
- 3 地方財政の充実強化について
- 4 市町村社会福祉協議会の法制化について
- 5 休廃止鉱山の鉱害防止対策の強化について

- 6 地域エネルギーの開発利用の拡充強化について
- 7 家庭用灯油及びプロパンガスの安定供給と価格抑制について
- 8 電源地域の恒久的な振興を図るための総合的施策の確立について
- 9 東北開発促進計画の強力な実施推進について
- 10 豪雪地帯対策の拡充強化について
- 11 東北新幹線、北海道新幹線及び青函トンネルの建設促進等について
- 12 東北新幹線暫定開業に関する要望について
- 13 国鉄地方交通線の確保について
- 14 地方空港の整備と国際化について
- 15 公共投資の地域配分について
- 16 高速自動車道の早期建設について
- 17 水田利用再編対策の改善充実について
- 18 学校給食用米穀に係る現行値引き措置の継続について
- 19 大規模林業圏開発事業の拡充強化について
- 20 水産業の振興について

8 月 の メ モ

- 3日 ○前線の停滞と台風12号の北上に伴い、道央中心に記録的集中豪雨（3日夜～6日朝）。石狩川がはんらんするなど死者6人、行方不明2人が出たほか、国鉄、道路も各地で寸断され、家屋浸水約2万4千戸、田畑冠水による農業被害は約12万haに達し、50年の台風6号被害を上回る史上最大の被害となった。
- 4日 ○自治省が55年の「政治資金収支報告書」を公表。収入総額は1千128億4千万円。
○石炭鉱業審議会は第7次石炭政策の答申を田中通産相に提出。答申は「2千万t程度の生産水準の達成を目指す」ことを基本方針としている。
- 5日 ○イラン国民議会はバホナル師の首相就任を承認。
- 7日 ○人事院は国家公務員の給与を4月にさかのぼり平均5.23%、11,528円(定昇抜き)の引上げを内閣と国会に勧告した。
- 8日 ○レーガン米大統領は中性子爆弾の生産と貯蔵の開始を決定し公表した。
- 11日 ○宇宙開発事業団は実用衛星の自力打ち上げとしては初めての静止気象衛星「ひまわり2号」を種子島宇宙センターから打ち上げた。衛星を漂流軌道に乗せることに成功（12日）。
- 14日 ○大村防衛庁長官が閣議に56年版防衛白書を報告。「愛国心」の育成を強調。
○中央薬事審議会が「丸山ワクチン」を現段階では承認できないと答申。
- 16日 ○共和・泊原発について岩内郡漁協が「条件付き賛成」への路線変更を目指した臨時総代会を開いたが、執行部の方針に反対する一部総代が実力阻止に出たため、議案審議ができないまま事実上流会した。
- 20日 ○園田外相と盧信永韓国外相との会談が開かれ、韓国側が、5カ年間で総額60億ドルの公共借款を要請。日本側は防衛分担的発想による経済協力ではできないとの基本方針を表明、民生安定のための資金協力は約したが、援助額などについては話し合いを継続することにした（～21日）。
- 21日 ○鈴木首相の私的諮問機関「郵貯懇」が、預貯金金利の一元化決定、定額郵便貯金の見直しなどを答申。
- 23日 ○台風15号のため、今月初めの豪雨に続き、道央、道南に大きな被害が出た。
- 25日 ○政府は「行財政改革に関する当面の基本方針」（行革大綱）を閣議決定。
○モスクワで行われていた貝殻島周辺のコンブ漁再開の民間協定が、道水産会とソ連漁業省の間で調印され、5年ぶり出漁が決まった。入漁料は6千6百万円。
- 27日 ○国鉄と国鉄監査委員会が塩川運輸相に55年度決算報告書を提出。純損失1兆84億円。
- 30日 ○イランの首相府で爆弾が爆発。ラジャイ大統領、バナホール首相が死亡。

9 月 の メ モ

- 4 日 ○台風18号崩れの低気圧により道南地方に集中豪雨。死者8人が出たほか、家屋・交通機関に大きな被害が出た。
- 5 日 ○イラン・テヘランで革命検察庁が爆破され、革命検事長が死亡。
- 8 日 ○日本人で最初のノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士逝去（74歳）。
- 10 日 ○鈴木首相は現職首相として初めて北方領土を視察した。
○韓国・ソウルで開かれていた第11回日韓定期閣僚会議は、「60億ドル借款」をめぐって見解が対立のまま共同声明に代わる「共同新聞発表」を出して閉幕（11日）した。
- 12 日 ○第1回臨時道議会開会。
○運輸省は、青函トンネル取り付け線の在来線との接続ルートを正式に決定した。本道側は知内町湯の里から木古内までの14.6キロで、江差線に接続。
- 13 日 ○北方領土7カ村再建委員会が初の村民大会を開き、領土返還と村復活を訴えた。
- 14 日 ○第1回臨時道議会閉会。
- 18 日 ○塩川運輸相は、国鉄が第1次廃止対象路線に選んだ本道の40線を、国鉄の申請通りすべて廃止線とすることを承認した。
○フランス国民会議は、政府提出の死刑廃止法案を可決。ギロチン廃止に。
○通産省は、北電の電気料金値上げ申請を認可。値上げ幅は、電灯15.7%、電力19.49%で平均18.11%となり、10月1日から実施。
- 20 日 ○中国はロケット1基で同時に3個の観測用衛星打ち上げに成功した。
- 21 日 ○新自由クラブと社民連は、衆院での院内統一会派「新自由クラブ・民主連合」の発足を正式に決めた。
- 23 日 ○インドのガルワル・ヒマラヤのジャオンリ峰で、道内の女性登山隊・山岳同人タネのインド・ヒマラヤ登山隊が遭難、隊員3人が死亡した。
- 24 日 ○第95回臨時国会召集。会期は55日間。
- 26 日 ○第3回定例道議会開会。
- 28 日 ○北電の共和・泊原発について、岩内郡漁協は臨時総代会で「条件付賛成」への路線変更を決定した。